

我々の目はその指と弓使いに釘づけになった。完全に虜になる演奏、一度聴いてしまったら、もう次の機会が待ちきれない…

What's on in Cape Town 誌

なんとしなやかな指捌きと俊敏な弓使い。旋律の歌いくち、華やかな技巧、全てをいとも簡単に弾きあげ、嵐のような拍手を受けて颯爽と去って行った。

終演後、後ろの列の男性がこう呟いた「完全にやられた、悩殺されたよ…」

ミュージック・アップ・クロース (ニュージーランド)

モダンもバロックもお手の物! 様々な弦楽器を自在に操る才人 モーツァルト国際コンクール (ヴァイオリン)、東京国際ヴィオラコンクール優勝等



セルゲイ・マーロフ

Sergey Malov, Violin & Violoncello da spalla

ヴァイオリン、ヴィオラ、ヴィオロンチェロ・ダ・スパツラ、そしてバロック・ヴァイオリンとモダン／ピリオド両方の楽器を駆使用する創造性豊かなアーティスト。モーツァルト国際コンクール、マイケル・ヒル国際コンクール、ハイフェッツ国際コンクール (以上ヴァイオリン)、東京国際ヴィオラコンクール優勝。古楽奏者としても、ライブツィヒのJ.S. バッハ国際コンクールにて特別賞を受賞するなど、マルチ弦楽器奏者として高い評価を得ている。

ヴァイオリンとヴィオラでは、BBC響、ロンドン・フィル、バイエルン放送響、東京シティ・フィル、名古屋フィルなどと共演。古楽でもベルリン古楽アカデミーをはじめ著名なバロック・アンサンブルとの共演を重ねる。これまでにデッカをはじめ多数のレーベルよりCDを発表。最新アルバムは「Hommage à Ysaÿe」(2017)。日本では、2011年「ヴィオラ・スペース」に出演。2012年に浜離宮朝日ホールにて日本ソロデビューを果たす。



ヴィオロンチェロ・ダ・スパツラ

ヴィオラをひと回り大きくした楽器で、5本の弦をもち、肩 (イタリア語でスパツラ) から吊り上げて、ギターのように構えて弾く。バッハの無伴奏チェロ組曲はこの楽器で演奏することを想定して書かれたという説もあり、近年研究が進むとともに復元した楽器を実際に演奏する奏者も増えている。ただしそのほとんどはバッハ等のバロック音楽を対象としたものであり、ベートーヴェンの作品のように既にこの楽器が廃れた時代の作品を演奏するのは大変珍しく、また演奏至難であるといわれる。



岩崎 洵奈

Junna Iwasaki, Piano

東京藝術大学卒業。ウィーン国立音楽大学留学。2010年第16回シヨパン国際ピアノコンクール (ワルシャワ) においてディプロマ賞受賞、審査員のマルタ・アルゲリッチ氏より賞賛を受ける等、数々の国際コンクールで優秀な成績を収める。

文化庁新進芸術家海外研修生 (2009)。CHANEL Pygmalion Daysアーティスト (2012)。地域創造・公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト (2016-17)。これまでにセントラル愛知響、名古屋フィル、神奈川フィル、東京シティ・フィルと共演。日本とウィーンに拠点を置き、海外では欧州、中東を中心に活動。2015年「J First」でCDデビュー、今秋シヨパンのバラード全曲を収めたセカンドアルバムの発売を予定している。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsughall.com
URL www.munetsughall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業